



発行所
 十勝毎日新聞社
 ©十勝毎日新聞社 2005
 〒080-8688
 帯広市東1条南8丁目
 TEL(代表)0155-22-2121
 編集局 0155-22-2121
 広告局 0155-23-2323
 販売局 0155-24-2222
 事業局 0155-22-7555
 総務局 0155-24-2299
 広尾支局 01558-2-4111
 池田支局 01557-2-2367
 本別支局 01562-2-2618
 新得支局 01566-4-5524
 札幌支社 011-261-2161
 東京支社 03-3544-1365

日本航空宇宙学会の国際シンポジウム

十勝誘致構想が始動

北海道衛星 役員ら 自治体に協力要請へ

2008年開催の「第26回宇宙技術および科学の国際シンポジウム」を十勝に誘致する構想が動き出している。国内外の専門家が研究活動発表などの宇宙関係で国内最大級のイベント。大樹町の航空宇宙産業基地構想を推進し、地域振興につながることを管内の宇宙関係者が模索。主催者側では8月、開催地として名乗りを上げる自治体の提案を受け付けるため、管内自治体への協力要請に向け準備に入った。

(児玉匡史)

十勝への誘致を考へて「係者」20方国前後の1人で、同社副社長の福島充一は、「天樹」だけでなく、陸田町、大樹町、佐藤町、航空宇宙産業基地構想推進に弾みが付く」とし、期間は1週間程度と「興」につながる。開催地の

観光プログラムも想定されており、経済的な波及効果が期待できる」と受け止めている。

開催地の選定は8月以降、主催者が誘致を希望

する自治体の提案を審査する予定で、「08年の開催はすでに広尾市をはじめ7自治体が候補の名乗りを上げた」と関係者。このため、福島氏は「十勝ではまだ自治体に説明していない段階だが、今後、資料送付も含め理解を求めたい」とし、開会式などメイン行事には1000人を収容する大きな会場確保も必要となるため、帯広市な

どに要請する意向だ。宇宙技術および科学の国際シンポジウム「ISTS」(International Symposium on Space and Technology and Science)と呼ばれる、宇宙工学や科学な

最先端の専門家が参加する学会として世界的な評価が高い。社団法人日本航空宇宙学会が主催団体を組織して5年に

1度開催。1988年には北海道大学で開かれた。2004年の開催地は宮崎市で、06年は金沢市を予定している。